

2026-2027
週報



RI会長 オラインカ・ハキーム・ババロラ
RIテーマ 持続可能なインパクトを生み出そう
地区ガバナー 原島 生慈
地区スローガン ロータリー活動に誇りを！

CREATE
LASTING
IMPACT

国際ロータリー
第2570地区
第3グループ西

狭山中央ロータリークラブ

会長 渡邊高治 会長エレクト 小島美恵子 副会長 沼崎正徳 幹事 小林奈保絵

事務所 〒350-1305 狭山市入間川 1-24-48

TEL : 04-2952-2277 FAX : 04-2952-2366

E-mail : schuohrc@p1.s-cat.ne.jp HP : <https://www.schuohrc.org>

例会場 ニックス 〒350-1305 狭山市入間川 4-25-3 TEL : 04-2954-9595



【第3グループ例会日】 西：入間会 飯能会 日高会 新狭山月 入間南会 狭山中央金 東：所沢会 新所沢会 所沢西会 所沢東会

第1449回（8月28日）例会の記録

2026-2027年度 原島生慈ガバナー公式訪問

新狭山ロータリークラブ・狭山中央ロータリークラブ合同例会

ホストクラブ) 狭山中央RC 於) レストランニックス



開会点鐘..... 狭山中央RC会長 渡邊高治

国歌斉唱「君が代」

ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」

お客様紹介..... 狭山中央RC副会長 沼崎正徳

国際ロータリー第2570地区 ガバナー 原島生慈 様

国際ロータリー第2570地区 第3グループ西 ガバナー補佐 大河内隆敏 様

秩父ロータリークラブ 新井利幸 様

会長の時間

新狭山RC会長 新井敏夫



本日の合同公式訪問にあたりまして、国際ロータリー第2570地区ガバナー原島生慈様におかれましては、お忙しい中、そして遠方よりお越しいただきまして誠にありがとうございます。そして、秩父ロータリークラブの新井利幸様、お忙しい中お越しいただきまして誠にありがとうございます。8月17日のガバナー補佐訪問で、大河内隆敏様には、事業計画のアドバイス、卓話、そして例会後の懇親会にもご参加いただき、誠にありがとうございました。

合同例会開催に際しましては、渡邊会長をはじめ狭山中央RCの皆様には、準備段階から大変お世話になり誠にありがとうございます。

今年当クラブは40年目の節目を迎えておりますが、人間で言うと体の節々が痛んできた頃でしょうか。一昨年前の会長でお世話になった時に原島ガバナーには3年間の目標設定とその指導をしていただきましたが、それから3年後、2回目の会長となったのも何か意味深い気がいたします。

今年度は原島ガバナーのテーマ「ロータリー活動に誇りを！」を念頭に、数々のボランティア活動・事業に取り組んでいけたらと考えております。狭山市内のクラブとして、狭山中央RCとの合同例会、懇親会など、共同事業も開催したいと考えております。両クラブの皆様にはご協力いただきまして、素晴らしい実りのある年度にしていきたいと考えております。

結びに、ここにご臨席賜りました会員の皆様の御健勝・御多幸を御記念いたしまして、新狭山RC会長の時間といたします。本日は最後までどうぞよろしくお願いいたします。

狭山中央RC会長 渡邊高治



本日のガバナー公式訪問を、今年も新狭山RCの皆様と合同で開催する事が出来た事に、皆様のご協力のおかげと心から感謝しております。原島生慈ガバナー、秩父ロータリーの新井利幸様、お忙しい中お越し頂きありがとうございます。大河内隆敏ガバナー補佐におかれましては、先週に続きお越し頂きありがとうございます。どうぞ一日ご指導を宜しくお願い致します。

狭山中央RCは、今年度も会員増強に重点を置いて活動をしたいと考えておりますので、皆様のご協力を切にお願い致します。

本日の「会長の時間」ですが、クラブ会員の職種は多種にわたっており、皆様の企業が今後も生き続けるために参考にさせていただきたい、遠藤功氏の「進化し続ける企業の共通点」をご紹介します。

【進化し続ける企業の共通点】私が見てきた企業の中で、例えば花王などは現場力の塊のような会社である。2006年まで24年にわたり連続で

増益し続けたのは有名な話だが、24年とは約四半世紀である。この間、経営環境も著しく変化する中、なぜそれが可能だったのか。例えば、洗濯洗剤の「アタック」は2022年で発売から35年目になるが、いまなお毎年商品改良を続け、新しい価値を加え、一方でコストを削減すれば、当然利益が生まれる。要するに、花王の現場はルーチン業務をこなしているのではなく、利益を創造しているのである。毎年少しずつの改善・改良を地道に続けてきたからこそ、24年もの間、増益を続けられたのである。その継続性、執着性こそ花王の競争力の源である。サービス業でいえば、例えばヤマト運輸である。いま、宅配便は当たり前のように指定した時間内に届けられるが、この背景には並外れた現場力がある。日々、交通事情も違えば荷物の個数も違う。ヤマト運輸のセールスドライバーは「今日この個数を午前中に届け切るにはどうしたらいいのか」と常に考え、工夫し、動いている。現場の知恵があるからこそ時間指定配達が可能なのだ。そもそも昔は時間指定などなかったが、それを生み出したのも現場である。配達時、不在であれば再度足を運ばなければならないから時間もかかるし、コストもかかる。また、お客様から「〇時に届けてくれたら助かる」という声もあっただろう。新サービスを「やる」と決断するのは経営陣だが、それを実現するのは現場の力である。ヤマト運輸にはセールスドライバー用のマニュアルがあるが、「マニュアルどおりにしたらクレームになる」と言われている。ここが欧米の現場との決定的な違いだ。たとえマニュアルどおりにやっても、時間内に配達できなければ、お客様満足は実現できない。だからヤマト運輸の現場では日々の状況を見て、自分たちで考え、いまどうすべきかを工夫している。また、この円安でも、ものすごく高い利益率を出しているスーパーマーケットがある。スーパーのオオゼキである。東京・神奈川・千葉を中心に42店舗あり、このスーパーは個店主義を展開しており、「仕入れの裁量」を各部門のチーフやバイヤーが自ら市場へ通い、地域性や顧客の好みに合わせた品目を直接選んで仕入れ、自分たちで売り場づくりを行っている。そして「正社員比率が高い」この業界では異例となる高い正社員比率を維持し、現場スタッフが専門知識を持って接客や売り場運営を行っている。製造業でも、サービス業でも、小売業でも、すべての業界において、現場が自発的にアイデア

を出し、進化し続けている企業は圧倒的に業績がいい。現場力はそのまま業績に結びつくのである。
やはり最後は素晴らしい人材を育成することが大事となる。

※ 遠藤功氏：シナ・コーポレーション 代表取締役、早稲田大学商学部を卒業後、米国ボストンカレッジ経営学修士(NBA)を取得。三菱電機、外資系戦略コンサルティング会社を経て、ローランド・ベルガー日本代表・会長を歴任。「見える化」など多数の著書があり、良品計画などの社外取締役も務める経営コンサルタント

幹事報告

新狭山RC幹事 西澤長次

- ・10月5日(月)例会(卓話：米山記念奨学生)の出席調べ(回覧)

狭山中央RC幹事 小林奈保絵

- ・「原島ガバナーとの懇談会」の報告
- ・新狭山RCとの親睦会について
日時：2026年9月5日(土)18：00～
場所：はなの舞 狭山東口店
会費：5,000円
8月31日(月)までに出席をお知らせください
- ・新狭山RC「第1650回例会のご案内」について
日時：2026年10月26日(月)19：00～
場所：新狭山RC例会場(狭山市駅東口 かにや3F)
会費：なし
卓話：狭山市長 小谷野剛様
狭山市長の貴重なお話を伺える貴重な機会ですので、奮ってご参加ください。
- ・2026-27年度メイクアップDayについて
地区の公共イメージ委員会の発案により、各クラブの交流促進と親睦を深めることを目的とした「メイクアップDay」を設定し、各クラブの方たちが参加しやすい環境づくりを進めています。
現時点で3クラブの「メイクアップDay」が届きました。
①行田RC 9月10日(木)12：30～ 卓話：京都大学iPS細胞研究所教授 藤田みさお様
②深谷RC 9月13日(日)11：00～ 生智深谷高校文化祭
③新狭山RC 10月26日(日)(月)19：00～ 卓話：狭山市長 小谷野剛様
申込は事務局までご連絡ください。

出席報告

新狭山RC 西塚和音

会員11名 出席者7名 欠席者4名 実質出席率：63.64%

狭山中央RC出席向上委員長 寶積英彦

会員18名 出席者16名 欠席者2名 実質出席率：88.89%

ガバナー卓話

2026-27年度国際ロータリー第2570地区ガバナー 原島生慈 様



まず初めに、こちらの“地区テーマバッジ”についてお話しいたします。秩父RCは秩父神社で例会を行っていることもあり、社殿に施されています彫刻、“三猿”と“フクロウ”を2570地区の今年度のテーマバッジにさせていただきました。

まず、“三猿”ですが、日光東照宮の猿に似ています。どちらも作者が左甚五郎作なので似ているはずですね。東照宮の“三猿”は「見ざる・言わざる・聞かざる」。秩父神社は「よく見て・よく聞いて・よく話す」だそうです。そして“フクロウ”。これは「北辰の梟」と言って知恵の神様です。

11月21日(土～22日(日))に秩父で地区大会を開催いたしますので、ご参加いただいた際には是非秩父神社にも寄っていただけたらと思っております。

プロフィール

生 年 月 日：1960年1月11日

事 業 所：株式会社アシスト 代表取締役（保険代理店）
Dウェルフェア 株式会社 代表取締役（就労支援事業）
有限会社峰承（不動産管理）

ロータリー歴：クラブ）2026年5月9日秩父ロータリークラブ入会
2013-14年度幹事
2018-19年度会長
地 区）2018-20年度ポールハリスフェロー
2021-22年度地区公共イメージ委員長
2023-24年度第4グループガバナー補佐
2024-25年度地区増強委員長

2026-2027年度RI会長メッセージ オラインカ・ハキーム・ババロラ会長

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

変革は戦略からかじまるのではない。「自分自身の中」から始まる。

CREATE LASTING IMPACT 持続可能なインパクトを生み出そう

一時的な変化ではなく、地域社会、世界、そして私たち自身の中で「持続可能な良い変化」を起こし続けること。ビジョンを現実にするため、内なる変化を解き放つことが求められています。

RI会長メッセージの要点

ロータリーによる自己変革	仕事、ビジネス、家族、そして私たち自身をより良く形作ってくれた原体験を大切にする
「入って良かった」の共有	このポジティブな体験が、退会防止や会員増強を推進する最大の原動力となる
変化をインパクトへ	変化は始まりに過ぎない 成果を“未来に残る価値”へと昇華させることが重要

RI協調事項 優先事項

ポリオ根絶	平和の推進	クラブの活性化	確かな奉仕
最後の一押し (Last Mile)の完遂 監視活動の継続支援	分断された世界での対話 と理解 地域平和プロジェクト支援	多様な人々が歓迎される 「温かい場所」としてのク ラブ作り	数よりも「長期的・継続的 な変化(Impact)を重視 する」

2026-27年度 第2570地区活動方針

RI会長テーマを具体化し、クラブ一丸となって取り組む重要施策です。
クラブが「地域になくてはならない存在」となるために。

地区スローガン ロータリーに誇りを！

原島の想い・・・

世界のロータリアンが持つ「漲る活力」の源は、自らの活動に対する確固たる「誇り」にあります。日々の小さな奉仕から大きなプロジェクトまで、そのすべてに誇りを持ちましょう。

クラブ活動の核心 組織の進化とブランド

魅力あるクラブの進化	「退会したくない、居心地の良いクラブ」の追求 DEI（多様性・公平さ・開放性）を推進し、若いプロフェッショナルを惹きつける運営へとアップデートします
ロータリー・ブランドの確立	奉仕活動の価値を広く発信 地元の存在的ニーズに寄り添い、インパクトを可視化することで、「地域に不可欠な団体」としての存在感を高めます

クラブ活動の核心 使命と次世代

ポリオ根絶ラストスパート	先輩たちが繋いできた「奇跡の活動」を確定させる支援 寄付を通じた支援と、地域への啓発活動（ポリリーダー等）を力強く推進します
--------------	---

次世代育成と絆

青少年奉仕やRYJEMを通じて未来のリーダーを育成

ローターアクトや学友を含む「ロータリーファミリー」との連携を深め、
バトンを繋ぎます

Ⅰ 地区運営の新体制 9グループ制

本年度より、これまでの5グループから9グループへの細分化を実施しました。これによりガバナー補佐による、よりきめ細やかなクラブ支援が出来ると思ったからです。

- ✓「地区はクラブのためにある」を具現化
- ✓ グループ内の親睦・交流を促進し、活性化を支援
- ✓ 地域の特色を生かした柔軟なコミュニケーション

Ⅰ 奉仕の精神 究極の自己投資

ロータリーの奉仕は自己犠牲ではなく、巡り巡って自分自身の喜びや成長として還ってくる「究極の自己投資」です。仕事を磨き、自分を磨き、心の許せる仲間を作る。その行動に誇りを持つことからすべてが始まります。

未来を変えるのは私たちの今日の行動です！

- ❖ 例会開催の前、ガバナー 原島生慈様、ガバナー補佐 大河内隆敏様、秩父RC 新井利幸様、新狭山RC 新井敏夫会長・西澤長次幹事、狭山中央RC 渡邊高治会長・小林奈保絵幹事、入会3～5年未満の狭山中央RC 小田美津子会員の合計8名で、和やかに懇談会が行われました。

■■■■■■■■■■ クラブ協議会 ■■■■■■■■■■

テーマ：ロータリー活動に誇りを持てた経験

司会進行役 狭山中央RC 小田美津子
ファシリテーター ガバナー補佐 大河内隆敏様

発表者Ⅰ 狭山中央RC 寶積英彦

私は、2024-2025年度に狭山中央RCの会長を務めさせていただきました。先ず本日のタイトルに対する回答でございますが、本日このような場でお話をさせていただく事自体が、私にとって最高の誇りを持てる大きな経験です。

私はこの「活動」という言葉にフォーカスしてみました。これは行動です。私ども狭山中央RCの活動は、メイン活動の他に、奉仕として、市内子ども食堂へのサポート、狭山市犯罪被害者の会「オリーブ」へのサポート、地域密着型フリーマーケットへの出店参加など、多岐にわたる奉仕活動です。先ほどメインという言葉を押借いたしましたが、私的にはそれは通常例会への出席でございます。「会長の時間」から始まる限られた時間内の対話が全ての起源であると思います。「傾聴」と「対話」から貴重な知識の習得ができ、それを源に研磨された行動・活動が可能となります。

我が法人は、医療法人・社会福祉法人・別途小さな株式会社です。医療・介護・福祉、そして優しさと思いやりを手段に、地域の方々へ満足感・幸福感を提供しています。2026.1.1現在で、尚寿会1,026名、尚栄会112名、合計1,138名で、地域の方々47,814名の未来と将来を支えています。単純計算で1名あたり42名の地域の方々の責任を背負っています。私の先代が35年間、私が13年間継承しておりますので、今年で48年です。

運営・経営していくにあたり、必要なものをここで学ばせて頂きました。今も学ばせていただいております。クラブ例会で学び得たキーワード「私の誇り」は、端的に「尊敬と利他の精神」です。

- ① 尊敬：好意と友情です。30年も前に、自己主張の強い個性的な先代（自身の父）を受け入れて下さった先輩方への尊敬
- ② 利他：これは超私の奉仕そのものです。私の資格は医師でございますが、30年前の医学部教育課程には存在しないものでした。
- ③ 国際理解と平和の促進：申し訳ございません。現在の私はまだその視座におりません。但し、遠くもない未来からの当クラブへの視線・評価は（玉石混交）必ずしも万全とはいえません。



本年度のRI会長は、「持続可能なインパクトを生み出そう」とおっしゃっております。そしてその中でも、変化とインパクトは全く異なるものであるとのことでした。

- ・変化は単なるきっかけ
- ・インパクトは未来に残る結果

最良のクラブではありますが、もっともっと誇りを持てるインパクトのあるクラブになるためには、ここに集いし2つのクラブが手を取りあいフュージョンし、そして名士・大先輩方皆様のご子息・ご令嬢の早急な入会が望まれる所でございます。

本日頂いたテーマ、「ロータリー活動に誇りを持てた経験」について、私は、「近未来のロータリー活動に更なる誇りをもつ為には」という視点でお話をさせていただきました。拙いメッセージのご清聴に感謝申し上げます。

発表者Ⅱ 新狭山RC 松本二三男

本日はロータリー活動に誇りを持てた経験をお話したいと思います。私がRCに入会したのがちょうど34年前になります。

当時は会員数も50名を越えていましたので、活動も盛んだったと記憶しております。その中でも交換留学生の支援が強く思い出されます。

当時、日豪交換留学生の支援、そして米山奨学生のカウンセラーなどを経験させて頂きましたが、カンボジアの女子大学生を2年間カウンセラーとして面倒をみさせていただいたことがとても印象に残っています。

米山梅吉記念館の旅行、会員旅行、食事会等一緒に行きました。

父親はカンボジアで国家公務員をしており、母親はカンボジアではまだ無い不動産業をこれから起業すると言っておりました。米山奨学生が帰

る1ヵ月前、母親が来日して我家に来た際、日本の昔ながらの田舎料理である赤飯、肉じゃが、天ぷらを、どれも美味しいと言いながら食べていました。今でも、日本で経験したことが本国に帰って役立っていればと願っております。

まだ沢山の奉仕活動の経験がありますが、今現在は、会員数、活動費の減少によって奉仕活動に影響が出ているのも事実です。まずは会員増強が急務だと思います。

私の「ロータリー活動に誇りを持てた経験」は まだありますが、今日はその一部を紹介させていただきました。



発表者Ⅲ 狭山中央RC 沼崎正徳

渡邊会長が2度目の会長をお引き受けになられました。大変なご苦労でそのお気持ちは大いに尊敬すべきことです。時あたかも、新狭山RCとの合併を推し進めるという大役を担われるわけで、幾重にもそのありがたさが思われます。その渡邊会長から「原島ガバナー訪問時のスピーチ」を頼まれればお受けするのが当然でお受けしましたが、さてどうすればよいのか…。AIに頼めれば良いのですがそこまで実力が伴っていません。困りました。

私は2002年、今から24年前の5月入会させて頂きました。30年余りの明治乳業のエンジニア生活から定年退職して、地元に戻ってきて父の仕事を引き継ぎました。不動産貸付業です。ご近所で土地建物の測量を生業とされておられた元ロータリアン田中八束さんにお声をかけて頂きました。「お父さんもロータリアンでした。是非お入りください」と。そのようなわけで入会させて頂いたわけです。

会社勤めを辞めた私は残り少ない人生の「迫りくる死に向かって」自分のやらなくてはならない、またやりたい「コト」を一生懸命考えていました。ひとまず世界中を旅行してみよう。新しい発見が在りそう。それには人に頼らず自身で旅行できるように英語と独語をしゃべれるように勉強しよう、と考えていました。試しにイギリスとドイツを旅行してみてその手応えを確認し、もっともと言葉の実力を伸ばす必要性を感じていました。

先輩の柴田会員と何回か飲み会をやり「迫りくる死に向かって」私はかかる計画を持っている。それ故、ロータリーに入ることによってその計画を乱されたくない。困ったものだ。と話しました。また入会させて頂いたからには自分の任務を疎かにすることは避けなければならないと話しました。彼は私に“その志は一見立派な様だけれども「まずロータリーの仕事をきちんと果してからのこと」”と言われました。当然のことです。

私は、入会の時のイニシエーションスピーチで次のようなことを言いました。論語の最初にある「学びて時にこれを習う。また説（よろ）こばしからずや。朋の遠方より来るあり、また楽しからずや。人知らずして憤（いきどお）らず、また君子ならずやと」。かなり生意気なことですがロータリーに対する私



の期待と心構えを言ったつもりです。お陰様でロータリーではいろいろなことを教えて戴きました。自分が今まで学びたいと思っていた「勤め人」では分からない経営者の物の見方、生活態度。ものすごくたくさんを学びました。今まで知らずに過ごしてきた近隣の社会、地域の方々のことなど身に沁みて感じ取ることが出来ました。先に述べた論語の一説に幾分近づく気もしました。

ロータリーではいくつかの専門委員や役を担当させて頂きました。SAA⇒幹事⇒会長⇒ガバナー補佐、加えて地区の要職もいくつか経験をさせて頂きました。いつの間にかよそのクラブへも顔が広がり自分のクラブでもいわゆる「経験者」の仲間入りをするようになっていました。

もうお分かりのことと思います。最初に述べた「迫りくる死に向かって」立てていた私の計画は完全にメチャクチャになっていました。困ったことです。

さて、徒然草と言う吉田兼好のエッセイ集があります。その中に「命長ければ恥多し、長くとも四十に足らぬほどにて死なんこそめやすかるべけれ」と言う一説があります。彼には想像もつかないほど長生きをしてしまった私、本当に困ったものです。ついながら論語では「十有五にして学に志し三十にして立つ、四十にして惑わず、五十にして天命を知る、六十にして耳順う、七十にして心の欲するところに従えども矩を越えず」と孔子先生は述べておられます。八十を超えてしまった私は完全に手遅れで手の打ちようありません。せめて周りにこれ以上迷惑をかけないように、静かに「迫りくる死」を待つのが世の為に違いない。

最後にここでもうひとつ取っておきの話をさせてください。「人は死ぬまでに少なくとも次の二つの仕事をやらなければならない」。この話は、いつのことか忘れましたが、ある時どこかで坊さんから聞いた話です。一つ目の仕事は「稼ぐこと」。この意味は皆さんお分かりのことと思います。きちんと稼いで自分の生活を成り立たせ子孫を育てるためにやる仕事です。二つ目は「働くこと」。これは無報酬で世の為人の為に働く。世間の役に立ち社会に尽くすことです。もうお分かりですね。これぞ「奉仕」を信条とするロータリーの精神と一致するものでしょう。私はこのことを念頭にロータリーを続けています。これまでに述べた全てが、私が感銘するロータリーと言えます。間もなく死が迫っていることは十分承知しています。

これで今日のスピーチを終わらせて頂きます。有難う御座いました。

発表者Ⅳ 新狭山RC 西澤長次

本日はお時間を頂戴し、ありがとうございます。

急遽、私西澤が交代してお話をさせていただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

私はロータリーに入会して18年になります。入会以来、多くの奉仕活動をはじめ、クラブ運営、国際交流、地域支援など、さまざまな活動に携わってまいりました。その一つひとつが私にとって学びであり、自分自身を成長させてくれる貴重な機会でもありました。本日は、その中でも特に心に残り、ロータリアンとしての誇りを強く感じた出来事を、三つお話しさせていただきます。

一つ目は、「地域社会とのつながり」です。

私がロータリー活動に誇りを感じた最初の場面は、地域の皆様と協力して行った社会奉仕活動です。クラブでは、地域の子どもたちを支援する「こめっ子クラブ」の稲作作業、西武文理高校インターアクトクラブの生徒の皆様や先生方と一緒に、うどん粉から麺を作り、文理祭で販売する活動などに取り組んでまいりました。その他にも、狭山市役所周辺の歩道のごみ拾いや植え込みの草取り、各種募金活動への協力など、様々な活動を行ってきました。その中でも特に印象に残っているのが、歩道のごみ拾いや草取りをしているときに、地域の皆様から「ありがとう」と声をかけていただいたことです。奉仕活動は、準備も大変ですし思うように進まないこともあります。しかし、地域の皆様から笑顔で感謝の言葉をいただいた瞬間、ロータリーの理念は確かに地域の中で生きている、そして私たちの奉仕の心は地域の皆様に届いているのだと実感しました。これは、私がロータリアンとして大きな誇りを感じた瞬間でした。

二つ目は、「国際交流を通じて感じたロータリーの力」です。

ロータリーは世界中にクラブがあり、国境を越えて奉仕の心を共有しています。私もこれまで、韓国・新羅ロータリークラブの皆様との交流など、国際交流の機会を経験してまいりました。言葉や文化は違っていますが、同じロータリーの理念を持つ仲間として、心を通わせ、語り合うことができました。その中で特に印象に残っているのが、新羅ロータリークラブの方からいただいた、「ロータリーは世界をつなぐ橋です」という言葉です。この言葉を聞いたとき、私たちが日々行っている奉仕活動は、地域社会だけではなく、国境を越え、世界の平和や相互理解にもつながっているのだと強く感じました。国際交流は、ロータリーの広さと深さを実感するとともに、ロータリアンとしての誇りを新たに作る貴重な機会となりました。



三つ目は、「クラブ運営を通じて感じた仲間の力」です。

役員としてクラブ運営に携わる中で、会員の皆様がお互いに支え合い、協力しながらクラブを運営している姿を身近に感じることができました。会議の準備、事業の企画、資料の作成、会員への連絡や調整など、表には見えない多くの努力が積み重なって、クラブが成り立っていることを実感しました。そして、そこで改めて感じたのが、ロータリーは決して一人では成り立たないということです。お互いを尊重し、支え合い、奉仕の心を共有する仲間がいるからこそ、ロータリーは前に進むことができます。これまで、クラブの会長・幹事、地区役員、社会奉仕部門委員長、第3グループのガバナー補佐など、さまざまな役割を経験させていただきました。その一端を担うことができたことは、私にとって大きな誇りであり、同時にロータリアンとしての責任と喜びを深く感じる経験となりました。

以上、私がロータリー活動の中で誇りを感じた三つの経験についてお話しさせていただきました。

これらの経験を通じて、私はロータリーの理念が確かに人々の心に届き、社会をより良くしていく力を持っていることを実感しました。そして何より、ロータリーの活動を通じて出会うことができた仲間の存在こそが、私にとって最大の誇りです。これからも、奉仕の心を胸に、仲間とのつながりを大切にしながら、クラブの発展と地域社会への貢献に努めてまいりたいと思います。

本日は最後までお聞きいただき、ありがとうございました。



クラブ協議会終了後、原島生慈ガバナーより「非常に感動しております。発表くださった皆さま、四者四様に変えたい素晴らしいお話を聴かせていただきました。これからも誇りを持って、楽しいロータリー活動を続けてまいりましょう！」との講評を頂戴しました。

ニコニコ

狭山中央RC 副SAA 田端都女子

秩父RC・新井利幸様

本日は勉強させていただきます。よろしくお願い致します。

渡邊会員

国際ロータリー第2570地区ガバナー原島生慈様、第3グループ西ガバナー補佐大河内隆敬様、秩父RC新井利幸様、本日はお忙しい中、狭山中央RC・新狭山RCの合同例会にお越し頂き有難うございます。どうぞご指導を宜しくお願い致します。

東会員

ガバナー公式訪問です。狭山市内の兄弟クラブも集い本日はにぎやかな例会です。

江原会員

国際ロータリー第2570地区ガバナー原島生慈様、第3グループ西ガバナー補佐大河内隆敬様、秩父RC新井利幸様、本日は狭山中央RC・新狭山RC合同例会にお越し頂きありがとうございます。本日のガバナー公式訪問にあたり、ご指導の程宜しくお願いいたします。

寶積会員

本日は、2026-2027年度公式ガバナー訪問です。原島生慈ガバナー、御多用の中、ようこそおいで下さいました。そして、本日新狭山RCの皆様、力を合わせて参りましょう。よろしくおねがいいたします。

小島会員

本日は原島生慈ガバナー、公式訪問ありがとうございます。ご指導宜しくお願い申し上げます。又、ガバナー補佐大河内隆敬様、ガバナー随行者・秩父RC新井利幸様、ようこそおいでいただきました。宜しくお願い申し上げます。

宮岡会員

原島ガバナーにはようこそおいで下さいました。お話楽しみにしています。

沼崎会員

原島ガバナー、大河内ガバナー補佐、本日は私共のクラブへようこそおいで下さいました。よろしく御指導下さいませお願いいたします。

清水(武)会員

原島生慈ガバナーの公式訪問を新狭山RCと合同で実施できることを楽しみにしていました。AI(エーアイ)の時代で、新しいロータリー活動に期待しています。

清水(幸)会員

原島生慈ガバナー、お忙しい中公式訪問ありがとうございます。よろしくお願い致します。

田端会員

本日もどうぞご指導下さい。